

労力の実体を

大手のある農機具メーカーの話では、高性能の機械は売れるけれども、より多く売れるのはむしろ単純な低性能のものだという。例えば、バインダーにしても1条刈りのものの方がよく売れるというのである。これは一見奇異に思えるが、その農機具を使う人が老人や婦女子に多いことを考えると何ら不思議はない。日本農業の現状を端的に示すものである。専業農家は、高性能の機械を望むのは確かであるが、性能は劣っても取り扱いの簡単な方を希望する兼業農家のむしろ多いことを考慮しないと、技術の普及は思うに任せない。

昭和初期の試験場は、栽培条件の相対性なる思想に風びされ、播種期・播種量・移植期・施肥量・栽植密度などの主要栽培条件は固定的あるいは絶対的ではなく、移植期がおそければ施肥量を減じ、栽植密度を増すことで収量低減を食い止め得るものとして、その定量的実証試験に没頭したものである。この種の試験に従事する過程で、「ものに優劣なく、たゞ適否あるのみ」の寺尾博士の名言は、体験を通して技術者の骨髓に沁み、生態学的観察力は農学において著しく前進した。

たゞ惜しむらくて、この生態学的訓練には人的要素を欠いていた。農村労力の過剰であった当時としては、支障がなかったのであるが、今日の農村における労力の不足、量的・質的変異の大きい現実にあつては、人的要素を重要視しないと思ふぬ見込み違いをもたらす。

(戸 蒔 義 次)

目 次

(第7巻第11号)

昭和48年度夏作芝生関係除草剤 試験成績概要

昭和48年度夏作芝生関係除草

剤試験成績判定表…………… 2

千葉大学園芸学部教授

大 泉 久 一

昭和48年度水稻作関係除草剤試 験成績概要

1. 供試除草剤の動向…………… 9

2. 試験結果の概要…………… 10

<第1表> 昭和48年度水稻

作関係供試除草剤成分一覧表………… 10

<第2表> 昭和48年度水稻

作関係除草剤実用化判定表………… 29

<第3表> 昭和48年度水稻

作関係実用化除草剤使用基準

一覧表…………… 34

(財)日本植物調節剤研究協会

昭和48年度畑作関係除草剤試験 成績概要

<第1表> 畑作用除草剤試験

の推移…………… 48

<第2表> 昭和48年度畑作関係

作用性試験供試除草剤成分一覧表………… 49

<第3表> 昭和48年度畑作関係

適用性試験供試除草剤成分一覧表………… 52

<第4表> 昭和48年度畑作関係

除草剤実用化判定表…………… 56

<第5表> 昭和48年度畑作関係

実用化除草剤使用基準…………… 58

(財)日本植物調節剤研究協会